

復興へ 支援活動開始

気仙を元気に！



旧米崎保育所への
支援物資搬入作業

NPO 法人愛知ネットや防災科学技術研究所のご協力によって、4月5日YSセンターに気仙地域市民活動団体等が集まり、東日本大震災からの長期復興支援を目指して「気仙市民復興連絡会」を立ち上げた。

特に被害が大きく市職員も多数死亡した陸前高田市の支援を行うことにし、陸前高田市ボランティアセンターの要請にて、8日午前中は米崎小学校の机や椅子等の運搬、午後には旧米崎保育所の荷物運びを行った。

10日は「想いで探し」

神奈川災害ボランティアネットワークの皆さん 28名が10日早朝大船渡市に到着し、気仙市民復興連絡会の方々と一緒に、大船渡町内2ヵ所に分かれて、がれきの中から想いでの写真等を探し出した。

結婚式・学校の卒業記念・家族団らん等の写真を山のように収集し、避難している大船渡地区公民館と北小学校に置き、



地の森・中央通り地域の
想いで探し隊の皆さん

心当たりの被災者の元へ帰ることを願っている。

また、「けせん・まちの保健室」は、サンリアでの保健相談・指導、「おはなしころりん」は、各地で読み聞かせを行うなど色々の団体が多様な活動を行っている。

11日から、広田町慈恩寺へ「炊き出し」

温かい物を食べたいなど1ヶ月にもなる避難している方々の要望に応えようと「炊き出し」を行う。この炊き



想いで探し隊のお別れ会

出しには愛知ネットの全面的な支援を受けて、「もさばロハス」の会員を中心に気仙市民復興連絡会が、炊き出しを始める。

このニュースは、連日発行を目指している。皆様の投稿・ご意見を待つ。



陸前高田市米崎町堂の前